

バリアフリー奨励賞一覧（2006 年度）

バリアフリー推進ネットワーク

バリアフリー推進ネットワーク（正式名：交通バリアフリー推進支援連絡協議会－事務局：交通エコロジー・モビリティ財団－）では、去る 9 月 28 日に幹事会を開催し、以下の通り本年度のバリアフリー奨励賞を選定しました。

	受賞者(団体、組織等)	主な受賞理由
1	フェリー第二十一金風呂丸 フェ リー用車椅子昇降装置 (藤井 一彦)	・ 中小型フェリー向けに開発された車いす用昇降装置は、車載台数を減らす事なく、メンテナンスが簡単で低コストなエレベーターにかわる昇降装置として今後大いに期待される。
2	交通バリアフリー等に関する体系的な学習活動について (札幌市立新川西中学校)	・ 継続した交通バリアフリーに関する学習活動の中で、体験を通した様々な視点からバリアフリーについての研究や発表を行うことにより、意識の向上が期待できる。
3	交通バリアフリーのまちづくり (西武バス株式会社/街づくりネットワーク・清瀬)	・ 障害当事者を中心とした団体と交通事業者が、1994 年からの継続して年に 2～3 回の懇談会を開催している点は貴重な活動であり、バス車両だけでなくバス停のバリアフリー化についても共に検討するなど、努力がなされている。

上記 3 件の受賞者の方には、11 月 17 日（金）に開催される「第 5 回交通バリアフリー推進の集い」終了後に表彰状をお送りする予定です。